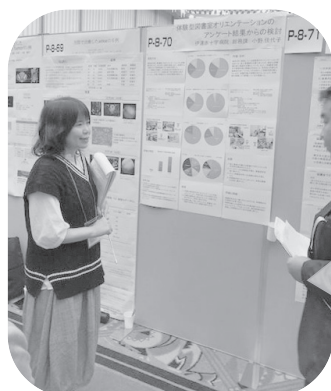


第55回日本赤十字社医学会総会

会期：2019年10月17日（木）・18日（金）

会場：広島国際会議場 / 広島市文化交流会館

医学情報（図書）10月18日（金）11：05～11：50（ポスター発表）90 座長：小出 実（名古屋一）



小野佳代子（伊達）

「体験型図書室オリエンテーションの アンケート結果からの検討」

- Q：看護師教育で成功している例だと思うが、医師向けに更に掘下げた内容の研修をされているか？
A：時間の関係でこの場では難しいが、研修医向けに別時間を設け、PubMed等の利用説明を検討していきたいです。

「文献複写サービスにおける 日赤図書室協議会の取組み」

- Q：依頼と受付に差があることに不満は出ていないのか？
A：不満より、ILLがスムーズになり、他施設の役に立てるのであればといった意見がある。ただ、協議会ではILLサービスを継続するため、一部の施設に負担が偏らないように検討することが必要と考えている。



川野眞樹（京都二）



池田友昭（長野）

「患者図書室利用促進の工夫について」

- Q：寄贈された本の配架基準はありますか？
A：基本的には全て配架の方向としておりますが、内容を司書2名で確認し、病院にふさわしくない内容、描写が過激なもの等は配架しないようにしています。今後基準を作りたいと思っています。

「業績集としての“赤十字リポジトリ”活用」

- Q：医療秘書とコミュニケーションが難しいとのことですが、電カルを利用されていませんか？
A：ツールではなく抄録、著者といった言葉の説明が必要ということです。



天野いづみ（静岡）

「日赤図書室協議会における
ホームページの活用と課題」

Q: 栄養士会もホームページを検討中ですが、開設にあたり注意点は？

A: 作製できる職員がいなければ、業者に依頼すれば良い。しかし管理が必要になるので引継ぎが大切で、担当を決める必要がある。業者に委託するのであれば、予算の確保が必要です。



羽田智和子（石巻）



塚越貴子（前橋）

「患者図書室の新設
患者さんの学びと癒しの場を目指して」

Q: 診察中に患者さんから参考資料を尋ねられる。そんな時に専門職である司書から推薦図書のリストが提示されると医師も助かると思う。患者さんへの情報提供で他部署との連携はあるのか？

A: 月1回のがんサロン、患者会にて化学療法室や患者支援センターとも連携し、資料の提供や広報を依頼している。患者さんへの推薦図書リストは今後検討していきたい。

来年は、京都です。
皆様も発表を経験
しませんか？！



発表者一同

会員の活動

2018. 4. 1 ~ 2019. 3. 31

NPO法人日本医学図書館協会認定資格

ヘルスサイエンス情報専門員

30回 2018. 4 ~ 31回 2019. 1

【学会発表】

1. 塚越貴子. 前橋赤十字病院の文献複写サービス NACSIS-ILL に参加して. 第54回 日赤医学会（名古屋）. 2018. 11. 15

該当者なし

「ヘルスサイエンス情報専門員（JHIP）」は、NPO 法人日本医学図書館協会の認定資格です。学会発表、論文、研修会参加等、ポイントによる申請で、5年ごとの更新が必要です。この資格取得により医療情報の専門的知識・技能、管理・調整能力等、各自の資質向上を目指します。日本医学図書館協会会員でなくても取得可能です。